

足利赤十字病院 EV病院車（アイ・ミーブ）の活用で社会・環境貢献促進へ ～住友三井オートサービスよりリース導入～

足利赤十字病院（栃木県足利市、院長：小松本 悟）は住友三井オートサービス株式会社（本社、東京都新宿区、社長：佐藤 誠、以下「住友三井オートサービス」）よりリースを通じて、電気自動車「アイ・ミーブ」1台を病院車として導入致しました。

足利赤十字病院は、栃木県内において地域医療支援病院として、足利地域に住む方々が広く平等に高度先端医療を受けられるよう活動しています。「患者の皆さまがかかつてよかったです、職員のひとりひとりが勤めてよかったです」と言える病院を創ります～Our Dream & Our Hospital～」を理念に掲げ、赤十字の使命を果たすべく災害対策にも力を注いできました。免震構造による地震に強い建物である他、非常用発電機は2800kwの電力供給が可能であり、停電時でも診療や検査が行え、また、地下水濾過機の設置、医療ガス配管のある300人収容の講堂など、緊急・災害時に足利地区における避難場所として被災者の受入れも見込んだ病院です。更に病院としては日本で初めて国土交通省の「省CO2推進モデル事業」に採択され、既に実現している風車設置による風力発電、太陽光発電パネルの設置、下水の井水熱利用ヒートポンプ等による、風と光と水の自然エネルギーを活用し、～省エネ・省CO2に配慮した（Green）、安全・安心は（Safety）、患者・スタッフにやさしい（Smart）～をキーワードとして「次世代型グリーンホスピタル」を目指している病院です。

足利赤十字病院では、「環境に配慮できる優しい人材を育成し、人にも優しい医療人を育てたい」という思いを胸に、企業の社会的責任として各種の環境対策に取り組んでおりますが、この度、さらなる環境貢献のため、地域の総合病院では初めて、電気自動車「アイ・ミーブ」を1台導入致します。電気自動車（以下「EV」）の活用により、排ガスゼロ化を実現しエコ活動を通じてエンジンの騒音の緩和により、近隣地区への配慮、社会との共生を図る取り組みを行います。

住友三井オートサービスは、「クルマ社会の発展と地球環境の向上への貢献」を理念に掲げ、グリーン・フリート・マネジメント（Green Fleet Management）をキーワードに、EVをはじめとした環境志向の電動車両の普及に向けた取り組みの一環として、EV導入企業および導入を検討される企業へのサポートに積極的に取り組んでおります。EV導入前のコンサルタントからインフラ整備、導入後のメンテナンスまで、お客様に快適・安全で、且つ効率的な車両管理体制構築に向けたワンストップサービスを早期からお客様へ提供してまいりました。

今般、地域を代表する医療機関と連携し、社会・環境貢献活動を更に積極化するために、EV「アイ・ミープ」を病院車両として導入する足利赤十字病院に対し、住友三井オートサービスでは、長年のEV導入実績と経験値を基盤に、足利赤十字病院のニーズに応じた、架装対応や補助金関連手続から導入後のメンテナンス対応迄、円滑な車両導入サポートを実施してまいります。

[今回導入される病院車両]



■本件に関するお問い合わせ先

足利赤十字病院 (URL: <http://www.ashikaga.jrc.or.jp/>)

〒326-0843 栃木県足利市五十町 284-1

担当 : 総務課 石原 (イシハラ)・奥山 (オクヤマ)

電話 : 0284-21-0121

住友三井オートサービス株式会社 (URL: <http://www.smauto.co.jp/>)

〒163-1434 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル

担当 : 広報室 船木 (フナキ)、高橋 (タカハシ)

電話 : 03-5358-6634、03-5358-6669